



2023年10月10日

各 位

会社名 株式会社MS & Consulting
代表者名 代表取締役社長 辻 秀敏
(コード番号：6555 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役会長兼経営管理本部長 並木 昭憲
(E-mail ir@msandc.co.jp)

2024年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異
及び剰余金の配当に関するお知らせ

2023年4月6日に公表いたしました2024年2月期第2四半期累計期間(2023年3月1日~2023年8月31日)の連結業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じました。また、本日開催の取締役会において、2023年8月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

I-1. 2024年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績数値との差異
(2023年3月1日~2023年8月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,159	70	70	52	52	12.17
実績数値 (B)	1,019	△19	△19	△13	△13	△3.08
増減額 (B) - (A)	△139	△89	△89	△65	△65	-
増減率 (%)	△12.0	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期)	992	77	76	54	54	12.43

I-2. 差異の理由

売上収益につきましては、第2四半期において、顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下、MSRという。)」は想定していた前期第2四半期を上回り、補助金関連売上も順調に推移しているものの、送客+調査型サービスに対応するための体制整備の遅れ、および今期新たに取り組んだ業務改善助成金支援等の受注および計上が下半期にずれ込んだため第1四半期におけるMSRの一部大手顧客の契約満了を主要因とした未達額をカバーするに至りませんでした。

利益面においては、人員増および昇給といった人材投資、IT投資による増加は見込んでおりましたが、MSレポートの謝礼および生産コストが想定以上に上昇したことから、成長投資以外のコストの見直しを行うことによって原価・販売管理費を当初予想の範囲で納めることはできたものの、売上収益の減少に伴い前回公表数値を大きく下回る結果となりました。

一方で通期業績においては、8月度より業務改善助成金支援の受注促進や送客+調査型サービスの体制が整い、その他補助金支援・海外関連調査・コストダウン支援等が増加見込みであることから、上半期の未達分を相応にカバー可能であると考えており、通期業績予想は据え置きとさせていただきます。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

II-1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年4月6日公表)	前期実績 (2023年2月期)
基準日	2023年8月31日	2023年8月31日	2022年8月31日
1株当たり配当金	9円00銭	9円00銭	8円00銭
配当金総額	35,635千円	—	34,717千円
効力発生日	2023年11月15日	—	2022年11月8日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

II-2. 配当実施の理由

当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRS(連結)の配当性向20%、日本基準(単体)の配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。

当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回としており、2024年2月期の中間配当金につきましては、1株当たり9円とすることを決議いたしました。

(ご参考)

基準日	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想	—	9円00銭	18円00銭
当期実績	9円00銭	—	—
前期実績(2023年2月期)	8円00銭	9円00銭	17円00銭

以上